

浮世絵で見る丑と湘南



牛(丑)の描かれた浮世絵は全国に数多く存在し、江の島と牛が描かれた作品もあります。一部を紹介いたします。

問い合わせ 藤澤浮世絵館 ☎(33)0111、FAX (30) 1817または郷土歴史課 ☎内線6731、FAX (50)8432

歌川国芳
「山海名産尽 相模ノ堅魚」

この作品は各地(国)の物産をテーマとしたシリーズもので、相模国(神奈川県)の旧国名)ではカツオが選ばれています。江の島の背後に富士山と暁日が描かれ、おめでたい図柄です。波打ち際には漁船が横付けされ、カツオが水揚げされています。手前の女性は牛に乗って海岸を遊覧している参拝客で、撒き金を期待した子どもたちが集まっています。江の島の浮世絵での牛は、作品のほとんどが浜辺を背景にしており、実際に遊覧に使われていたことが、旅日記の記述などから確かめられています。

浮世絵を見てみよう

藤澤浮世絵館では、牛の絵柄が入った浮世絵などさまざまな浮世絵を展示しています。見てみませんか。

とき 2月14日(日)まで
午前10時～午後7時

※祝日を除く月曜日、1月12日(火)は
休館

費用 無料

申し込み 当日会場へ



▲ 歌川国貞(三代豊国)・三代歌川国政「題名不詳(江の島詣 牛乗り美人と若衆)」

表紙に寄せて～江ノ島イルカ部と一緒に制作しました!



to be a beautiful sea forever

私たちは片瀬海岸西浜を中心にイルカやウミガメ、龍、人魚などのサンドアートを制作しています。代表作品は「砂イルカ」。海水を含んだ海岸の砂のみで造り上げ、波が来れば海へ帰っていきます。はかないですがそれは必然で、美しくまた愛おしくもあります。近年では、市のイベントやビーチクリーンなどでも作品を制作しています。海で出会え、笑顔になったら嬉しいです。

江ノ島イルカ部



※同部の活動などは、SNS「Twitter(ツイッター)」アカウント「江ノ島イルカ部@砂イルカ(@enoshimadolphin)」をご覧ください